

担当：榎本委員，宮城先生

### 3. IAC 関連

- 1) Australian society of cytology (ASC)  
45<sup>th</sup> Annual Scientific & Business Meeting  
16-19. October 2015 Brisbane Australia  
Professor Andrew Field
- 2) European congress of cytology (ECC)  
39<sup>th</sup> European Congress of Cytology (ECC)  
23-26. September 2015 Milan Italy  
Congress President Dr. Luigi Di Bonito

〔審議事項〕

国際・アジアフォーラムについてのあり方を今後検討していくことが提案され，承認された。

### 制度審議委員会（委員長 川本 雅司）

〔事業計画・報告事項〕

1. 理事会，総会承認に基づく定款，細則改定の実施
2. 各委員会内規の把握とりまとめの実施
3. 学術集会に関する内規の作成

〔審議事項〕

1. 資料に沿って，評議員選任に関する施行細則の改定案（査読委員→査読者への名称変更）が提示され，承認された。
2. 川本制度審議委員より，各委員会の内規を制度審議委員会に提出して欲しいとの呼びかけがあった。

### 医療安全委員会（委員長 森井 英一）

〔事業計画・報告事項〕

1. 医療安全セミナーの開催  
第57回(2016年)春期大会および第55回秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行う。
2. 感染対策セミナーの検討  
横山秋期大会長より，感染対策についてのセミナー開催の提案があり，今後検討していく。
3. MSC ホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

〔審議事項〕

特になし

## 倫理委員会（委員長 河原 栄）

### 〔事業計画・報告事項〕

1. 各大会中に倫理に関わる教育セミナーの実施.
2. 第57回(2016年)春期大会にて,倫理委員会指定セミナーとして黒木登志夫先生による「研究不正—その実態と背景, 対策について—」を企画.

### 〔審議事項〕

1. 女性委員と外部委員の追加  
現在の委員会構成は, 文部科学省の臨床研究に関する倫理指針における委員会構成の細則の条件である女性委員と一般の立場の委員がない. このため, 女性委員と一般の立場の委員(臨床試験審査委員会との兼任)の追加が提案され, 承認された.
2. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について  
委員会開催時における外部委員の日当と交通費の支出基準について倫理委員会と臨床試験審査委員会から合同提案され, 基準案を総務委員会にて作成し, 次回の検討事項とすることが決定した.

## 利益相反委員会（委員長代理 池田 徳彦理事）

### 〔事業計画・報告事項〕

1. COI 自己申告書・COI に関わる指針・細則の改定に伴う Q&A の作成（継続事業）

### 〔審議事項〕

1. 資料に沿って, COI 指針・細則修正案・Q&A が提示され, COI 指針・細則修正案について承認された.
2. 利益相反自己申告書の提出の流れ  
青木理事長より, 前年の1月~12月のCOIの申告は年度内とすること, 改選年は総会を超えて委員が決定した段階でCOIの申告をしていない者に提出を促すことが提案され, 承認された.
3. 上記 Q&A の参考資料  
Q&A の参考資料の内容については次回の審議事項とすることが決定した.

## 臨床試験審査委員会（委員長 中村 直哉）

### 〔事業計画・報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく.

### 〔審議事項〕

1. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について  
倫理委員会の項 審議事項 2 と同様.

IAC連絡委員会（委員長代理 池田徳彦理事）

〔事業計画・報告事項〕

1. The 19th International Congress of Cytology (略称：ICC2016) 開催前日、  
5月28日（土）12：00～17：00でIAC試験の実施。
2. ICC YokohamaでのIACの式典、諸種プログラムなどの詳細の決定作業が進んでいる。
3. Executive Council 2016-2019(President：長村義之監事)がICC Yokohamaの終了とともに職務を開始する。

Acta Cytologicaの投稿数増加・2017のIF奪還、IAC試験の実施、Tutorialの推進、  
Education materialの充実など課題が多数。JSCCの会員の方々のご支援をお願いしたい。

〔審議事項〕

1. ICC2016にてサイトパソジスト試験実施委員長に植田政嗣理事、国際細胞検査士試験実施委員長へ加藤久盛理事が推薦され、全員一致で承認された。

第19回IAC国際細胞学会準備委員会（委員長 青木 大輔）

〔報告事項〕

1. 会議概要

共同主催：日本学術会議

HP：<http://www.cytologyjapan2016.com/>

Key Dates

Early bird registration deadline	April 15th, 2016
Hotel reservation deadline	April 28th, 2016
Late registration deadline	May 19th, 2016
Opening of the Congress	May 28th, 2016

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）と同時開催

2. 参加登録について

事前参加登録数（両学会共通）：504件（3月9日現在）

3. 参加費用について：資料の如く参加費用を設定した。

4. 学術プログラムについて

一般演題応募数

ICC2016：378題

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：304題

プログラム一覧：資料の如く学術プログラムを設定した。

市民公開講座

日時：5月28日（土）16時～18時30分（15時30分開場）

会場：パシフィコ横浜 メインホール

第一部：16:05～17:20「経験者と乳がん・子宮頸がんの未来を考える」

キーノートスピーチ 井上苑子

モデレーター 宮城悦子, 三原じゅん子, 鈴木美穂, 藤森香衣,  
難波美智代

第二部：17:40～18:25 「誕生日には検診を！ママと子どもの笑顔をまもるから  
だの約束」

モデレーター 山本恵子, 戸澤晃子, 新井日南恵, 堀江敦子  
甲田恵子, 奥田絵美, 安藤哲也

5. Business Meeting について

IAC Council Executive Meeting

日時：5月28日（土） 10:00～16:00（詳細は未定）

会場：パシフィコ横浜 会議センター 418

（以下、日本臨床細胞学会関連）

理事会

日時：5月27日（金） 15:30～18:30

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 大会議室

（最寄駅：桜木町駅）

総会

日時：5月28日（土） 15:30～16:30

会場：パシフィコ横浜 国立大ホール

6. IAC 試験について

日程：5月28日（土）12:00～17:00（予定）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）会議センター 4階

7. 資格更新クレジットの取得について：日本臨床細胞学会 細胞診専門医研修指定講座，倫理委員会教育講演（日本臨床細胞学会，日本産科婦人科学会 共通講習），医療安全セミナー（日本臨床細胞学会，日本産科婦人科学会 共通講習），日本産科婦人科学会 専門医機構プログラムを設定した。産婦人科専門医に関するプログラムは産科婦人科学会を通じて日本専門医機構へ申請した。

〔審議事項〕

特になし

尿細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ（委員長 白石 泰三）

〔事業計画・報告事項〕

1. 泌尿器細胞診の報告様式の解説書作成について，作成した解説書は第 57 回日本臨床細胞学会学術集会で会員に配布予定である。  
受け取れなかった会員のために，ホームページに掲載も予定している。  
本委員会の名称は「尿細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ」ではなく「泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ」とする。  
なお，解説書の最終原稿を近日中にダウンロード可能な形で理事に公開する予定であ

る。

〔審議事項〕

特になし

#### 細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ（委員長 内藤 善哉）

〔事業計画・報告事項〕

1. 細胞診ガイドライン全巻発刊について  
2015年11月に細胞診ガイドライン3巻・5巻を発行。全巻発刊が終了したため、ワーキンググループも終了する。
2. 細胞診ガイドライン転載許諾について  
細胞診ガイドラインの転載許諾について申請が数件届き対応を行った。  
WG終了後は学術委員会が作業を引き継ぎ、金原出版の転載規程に則り対応を行う。
3. 細胞診ガイドライン利益相反について  
細胞診ガイドラインWG委員および各臓器を担当した小委員に利益相反申告書の提出をお願いした。利益相反の内容については、ホームページに掲載済みである。

〔審議事項〕

特になし

#### 臨床試験ワーキンググループ（委員長 寺本 勝寛）

〔事業計画・報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究（CITRUS study）」  
（山梨県、千葉県柏市）  
〔進捗状況〕  
最終登録数は18,471例（山梨県12,192例、柏市6,279例）であった。今後、追跡調査を継続する。
2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象としたLC-1000の有用性に関する臨床試験」  
目的：要精密検査目的で来院した子宮頸癌疑い患者、及び検診受診者を対象とし、LC-1000（剥離細胞分析装置：一般医療機器 シスメックス社製）により算出されたCPIx（Cell Proliferation Index）に基づく定性判定の有用性を、HPV検査と比較することにより検証する。中間報告会を2016年2月20日に予定している。  
〔試験予定期間及び目標症例数〕
  - ・試験予定期間：2015年6月～2017年3月（終了予定）
  - ・目標予定症例数：要精密検査対象者：約450例、検診受診者：約480例〔進捗状況〕
  - ・現在の進捗：要精密検査対象者：合計476例

〔審議事項〕

特になし

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ（委員長 竹島 信宏）

〔事業計画・報告事項〕

1. 電子媒体での用語解説集の作成を目指している。
2. 用語解説の統一した原案の作成完了。原案は学術委員会内にて確認済みである。作成した細胞診用語解説集は、理事全員の確認をとる予定。
3. その後にパブリックコメントを集めるため HP 上に掲載予定。

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ（委員長 植田 政嗣）

〔事業計画・報告事項〕

1. 細胞診専門医制度の今後の方向性について通信委員会等で討議
2. 日本専門医機構のヒアリング参加
3. 新しい細胞診専門医制度の運用面も含めて細胞診専門医あり方委員会、細胞診専門医委員会、施設認定制度委員会と協力して施行細則整備
4. 平成 28 年度教育研修指導医申請と認定作業

（これまでの経緯）

第 1 回審査会結果（2014 年 12 月） 認定 263 名，暫定 113 名

上記「暫定」の内 2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 77 名

第 2 回審査会結果（2015 年 2 月） 認定 154 名，暫定 98 名

上記「暫定」の内 2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 50 名

現時点では認定 544 名，暫定 84 名

〔審議事項〕

1. 「教育研修指導医認定並びに資格更新に関する施行細則」改定の件  
（細胞診専門医委員会）  
資料に沿って「教育研修指導医認定並びに資格更新に関する施行細則」改定案が提示され、承認された。
2. 「施設認定に関する施行細則」および「教育研修施設認定に関する施行細則」改定の件（施設認定制度委員会）  
5 年ごとの更新期間変更に伴った「施設認定に関する施行細則」および「教育研修施設認定に関する施行細則」の改定が提案され、承認された。また、日本専門医機構の指針による研修プログラムに沿って施行細則の大幅な改定を施設認定制度委員会 長尾委員長と協力して行っていくとの報告があった。

### 3. 日本臨床細胞学会の選択研修プログラム整備基準

サブスペシャリティ領域における研修プログラム整備基準の公表に先立ち、細胞診専門医会の細胞診専門医あり方委員会 亀井委員長と森井副委員長にお願いして本学会の日本臨床細胞学会の選択研修プログラム整備基準案を作成中との報告があった。

#### 日本肺癌学会とのワーキンググループ（委員長 渋谷 潔）

〔事業計画・報告事項〕

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究
2. 標準的な細胞像のアトラスを作成（ホームページ掲載の可能性を検討する）

〔審議事項〕

特になし

### 3. 審議事項および議決結果

#### 1) 平成 28 年度予算案について

計理委員会より平成 28 年度予算案が提示され、詳細に審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

#### 2) 平成 28 年度事業計画案について

平成 28 年度の事業計画案が報告され、第 8 項 2) の平成 27 年度を平成 28 年度に修正することが確認された。内容について詳細に審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

#### 3) 教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループの設置について

資料に沿って、平成 28 年度細胞診専門医資格認定試験委員会 杉山裕子委員長を委員長とする教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループの構成案が提示され、承認された。

#### 4) 平成27年度・28年度の日本臨床細胞学会活動日程および事務局員の委員会・理事会業務担当について

資料に沿って、平成27年度・28年度の日本臨床細胞学会活動日程および事務局員の委員会・理事会業務担当について確認を行った。


閉会の挨拶：青木大輔理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 27 年度第 4 回理事会を終了した。

平成 28 年 5 月 19 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長 青木大輔 

監事 長谷川壽彦 

監事

監事 佐々木寛 